



各 位

平成22年4月27日  
会社名 日立金属株式会社  
代表者名 執行役社長 藤井博行  
(コード番号 5486 東証・大証第一部)  
問合わせ先 コミュニケーション室長 釜谷和嗣  
(TEL. 03-5765-4075)

## 2012年度中期経営計画を策定

～ 質の経営で持続的に成長するグローバル企業へ ～

日立金属（本社：東京都港区、社長：藤井博行）は、2012年度（平成25年3月期）までの3年間における中期経営計画を策定いたしました。市場のグローバル化が加速する中、材料開発をベースとしたモノづくりの総合力を強化し、持続的成長をめざします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の考え方

日立金属グループは、創業以来「質」にこだわった経営を実践し、自動車・エレクトロニクス・産業インフラ等、さまざまな産業において特色ある材料・製品をお届けすることを通じ、社会に貢献することを経営理念としてまいりました。世界各国・地域において低炭素社会の実現に向けた取り組みが進む中、環境親和製品に経営資源を集中し、その開発と市場投入を加速するとともに、企業体質の強化に取り組む、持続的に成長することをめざしています。

一方、国内市場が成熟する中、市場のグローバル化が加速し、事業を取り巻く環境は転換期を迎えています。

この認識の下、新たな成長の実現に向け、2010年度から5年後を見た「2015年ビジョン」を掲げ、その実現に向けたアクションプランとして、2012年度中期経営計画を策定いたしました。

#### 2. 経営目標数値(連結ベース)

	2010年度	2011年度	2012年度
売上高	5,000億円	5,400億円	6,000億円
営業利益	330億円	500億円	650億円
経常利益	280億円	450億円	600億円
当期純利益	140億円	250億円	300億円
ROE	7%	12%	13%
海外売上高比率	44%	46%	50%
新製品売上高比率	24%	27%	30%

#### 3. 中期経営計画基本方針

2012年度中期経営計画では、「モノづくり力の総合力」を強化し、世界市場で持続的に成長することをめざします。

2012年中期経営計画基本方針		2015年ビジョン
	モノづくりの総合力強化	
グローバル 50	グローバル拡販・生産体制の再構築 事業・製品ポートフォリオ改革	
新製品 30	次の柱の創出・育成	
CO <sub>2</sub> 排出規制への対応	プロセス・イノベーション	
グローバル経営に対応する仕組み・組織	マーケティング機能の強化・人材育成	

### **(1) 「グローバル50」：グローバル拡販・生産体制の再構築、事業・製品ポートフォリオの改革**

今後は、新興国の成長が世界経済を牽引していくことが予想されます。市場を世界に求め、さらなるグローバル展開を推し進め、海外売上高比率を今後3年間で50%に高めてまいります。

#### **・グローバル拡販・生産体制の再構築**

市場ニーズを先んじて捉え、それを的確にモノづくりに反映し、タイミング良く世界市場でお客様に製品を提供します。

プロセスの合理化・革新を大胆に行い、最適なコストと納期、サービスでお客様に製品をお届けするための仕組みづくりをします。

#### **・事業・製品ポートフォリオの改革**

選択と集中を推進し、市場ニーズが高まる環境親和製品へ経営資源を集中します。エネルギー分野で省エネルギーに貢献するアモルファス、自動車・エレクトロニクス関連製品では製品の高効率モーターに不可欠な高性能マグネット、自動車のエンジンダウンサイジングで必要となる耐熱鋳造部品などを成長の牽引役とし、利益創出力を高めてまいります。

### **(2) 「新製品30」：次の柱の創出・育成**

材料開発は、産業の変化・進化の出発点であり、日立金属グループが社会に貢献し存在し続けるための源泉です。先進的な素材メーカーの地位を確立するために新製品売上高比率30%をめざし、製品構成の新陳代謝を図ります。

技術革新のスピードが高まる中、開発から市場投入までの期間短縮が求められます。開発・製造・販売を同期化させ、開発から市場投入、量産立ち上げ、拡販までのスピードを高め、次の柱となる新製品の創出・育成を加速してまいります。

### **(3) CO<sub>2</sub>排出規制への対応：プロセス・イノベーション**

CO<sub>2</sub>排出規制は、モノづくりにおける製造工程を抜本的に見直す好機となります。製造プロセスの改革に取り組み、リードタイムの短縮をはじめとするモノづくり力の強化につなげてまいります。

### **(4) グローバル経営に対応できる仕組み・組織づくり：マーケティング機能の強化・人材育成**

外部環境の変化や、カンパニー・グループ会社間のシナジー追求の観点から事業戦略を立案し、その実行力を高めるための仕組みづくりに取り組みます。

また、これら中期経営計画実行の中で明日を担う人材の育成を推し進め、持続的成長を実現するための原動力としてまいります。

以 上

【ご参考】

1. セグメント別中期経営計画目標数値（連結ベース）

【売上高】

	2010年度	2011年度	2012年度
高級金属製品	2,230億円	2,400億円	2,600億円
電子・情報部品	1,300億円	1,450億円	1,740億円
高級機能部品	1,480億円	1,565億円	1,700億円
サービス他・消去	△10億円	△15億円	△40億円
合 計	5,000億円	5,400億円	6,000億円

【営業利益】

	2010年度	2011年度	2012年度
高級金属製品	180億円	260億円	320億円
電子・情報部品	125億円	180億円	230億円
高級機能部品	90億円	120億円	165億円
サービス他・消去	△65億円	△60億円	△65億円
合 計	330億円	500億円	650億円

2. 中期経営計画目標数値（連結ベース）

	2010年度	2011年度	2012年度
設備投資額	230億円	310億円	300億円
減価償却費	290億円	300億円	300億円
研究開発費	130億円	130億円	140億円
有利子負債	1,700億円	1,700億円	1,680億円
人 員	18,000名	18,300名	18,800名

以 上